Museo de Naturales de Geihoku

高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 125 号
2014.6.15
高原の自然館

苅尾（かりお）とは，広島県北広島町芸北にある山の名前です．
一般には臥竜山として知られていますが, 地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつかっています．

もくじ

おしらせ

ー観察会の日程についてのおしらせ
ー散策マップ（霧ヶ谷編）の販売について
ー霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会について

活動報告

ーサクラソウの観察会
ー大潰山の春植物観察会
ーブナ林の野鳥観察会
ー龍頭山の野鳥観察会

観察会案内

ーブッポウソウの観察会
ー夏休み親子観察会
ーカワシンジュガイ探検隊

おしらせ

●観察会の日程について

観察会の開催日程が決定しました．詳細については次号以降の電波塔，またはホームページにておしらせします．

霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会：9 月 27 日（土）
サツキマス保全の試み：10 月 12 日（日）
キノコ観察会：10 月 18 日（土）

●散策マップ（霧ヶ谷編）の販売について

霧ヶ谷湿原の散策マップが完成しました．霧ヶ谷湿原の見所と，裏面は八幡高原で見られる動物の図鑑となっています．自然館内にて，1 部 50 円でお求めいただけます．水口谷編･千町原編と合わせて，散策のお供にぜひご活用ください．

●霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会について

7 月 6 日に実施される「霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会」について，定員に達したため，受付を終了しました．ご了承ください．

観　察　会　報　告

●サクラソウの観察会

開催日時：2014 年 5 月 10 日（土）9:30
講師：暮町昌保・下杉孝・白川勝信

深緑が香る五月晴れの空の下，サクラソウの観察会が行われました．参加者は 14 人です．

現地観察に先立ち，美和東文化センターで事前の説明がありました．

高原の自然館白川主任学芸員からは，スライドを使って「サクラソウの増え方」「美和のサクラソウ群落の特徴」などの話がありました．サクラソウには，昆虫によって花粉が運ばれ受粉することで種子ができる種子繁殖と，株が分かれることによって増えるクローン成長の二通りの増え方があり，「美和のサクラソウ群落」は国内のどのサクラソウとも違った独自の遺伝子タイプを持っていると説明がありました．

暮町先生は，江戸時代にサクラソウの栽培ブームがあり，300 種類以上の品種が作り出されたことやサクラソウの育て方についての話をされました．

地元でサクラソウの保護活動をしている「サクラソウを育てる会」代表の下杉は，「栽培地のサクラソウ」と「自生地のサクラソウ」の保護活動について話しました．美和東文化センターの近くで栽培しているサクラソウは，元々埼玉県に自生していたもので，いつかの時代に鳥取県を経由し，八幡まで人の手で運ばれ，これを人工的に増殖させたものを植え付けており，かたや「美和のサクラソウ群落」は，約 40 年前に，植林のために広葉樹林を伐採したところ，サクラソウの群落が突然でき，長年眠っていたサクラソウが環境の変化によって芽吹いたものである（地中で眠っている種をシードバンクと呼ぶ）．美和のサクラソウ群落は町の天然記念物に指定されており，地元住民がグループを作って毎年草刈り作業などをして保護しており，他の品種との交配を避けるため，サクラソウを持ち込まないように呼びかける看板を立てる活動を行っていると説明しました．

室内での説明後，栽培地と山中の自生地で観察をしました．栽培地のサクラソウは，クローンであるため，花の色も形も同じでした．一方，自生地のものは色，形，大きさなど多様な花を見ることができました．（しもすぎたかし）

暮町先生より，サクラソウ栽培の説明．

白川学芸員より，サクラソウの生態や，美和のサクラソウが持つ遺伝的特異性について解説があった．

講義の後，まずはを栽培地を見学した．

柵があり，歩けるようになっている栽培地.

自生のサクラソウ．花には，蜜を求めてやってきた昆虫の足跡が付いていた.

栽培地のサクラソウは，クローンのため，全て同じ姿をしている.

続いて，自生地で観察をした．新しく看板が立てられた.

【みなさんの印象に残った物】

「自然自生地があったことです」「守る会の方の努力と白川さんのテレビを使用された説明がよかった」「クローン同士だと交配出来ない事がわかった」「自生地のサクラソウは花が色々あっていいですね」「自生地の花の種類の多さ」「サクラソウの保存にいろいろ努力されている事を知りました．参加する事ですばらしさ感じました」「自生地の環境」「サクラソウの多様性」「色がそれぞれ異なることを知った」「守る会の方が大切に守っている点」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「参加者の自己紹介をしたら良いと思う」「サクラソウとひとことで言ってもいろいろとあることがわかってよかったです」「自生地を教えていただいたこと」「来てよかったです」「今後も参加していきたいです」「座学専門があってもよい」「知らない事ばかりでおもしろい！たいへん勉強になりました」「初めて出席しましたが，色々な方と興味ある話ができ，サクラソウに興味を持ちました」「みなさん丁寧に分かりやすく説明してくださった」

観　察　会　報　告

●大潰山の春植物観察会

開催日時：2014 年 5 月 17 日（土）9:30
講師：暮町昌保・斎藤隆登・佐久間智子

ツツジの有名所である大潰山での植物観察会です．今回の講師は植物の専門家である，暮町先生，斎藤先生，佐久間先生です．8 名の参加者が大佐山スキー場に集合し，建物内で大潰山について,佐久間先生からお話いただきました．

柏原山とも呼ばれ，昭和 40 年代まで炭焼きや放牧が行われ，人の手が入っていた里山だったそうです．また，山頂付近は草原が広がっていましたが．近年は植物の遷移の進行により，草原生の植物の生育場所が限られてきていることなどを聞きました．

事前学習を終え，大潰山の登山道入口まで乗り合わせて車で向かいます．

登山道入口付近には，様々なスミレが咲いており，くし葉状の托葉と，紫色の距が特徴のコタチツボスミレや，葉の形が細長い卵型で，裏側が紫色のシハイスミレなど，大潰山に咲くスミレを佐久間先生が解説されました．

登山道入口を過ぎ，近くに小川が流れるなだらかな道を進みながら，中国山地でよく見られるスゲの見分け方について，斎藤先生から解説がありました．参加者は，カンスゲとミヤマカンスゲの花穂の太さや基部の鞘（しょう）の色の違いや，その 2 種類と比べ，葉が幅広で茎が太いオクノカンスゲなどを見比べたり，感触を確かめながら先生の話に聞き入っていました．

登山道が急勾配になり始めた頃，道のすぐ傍で炭焼き窯の跡が見つかりました．炭焼き窯を作る条件として，炭の材料となる樹木の他に，付近に小川が流れていることや，炭焼き窯を作るための粘土が採れる場所が適していることを暮町先生が話されました．窯の周辺に生育しているコナラを主な材料とした，火の点きやすい炭が作られていたそうです．

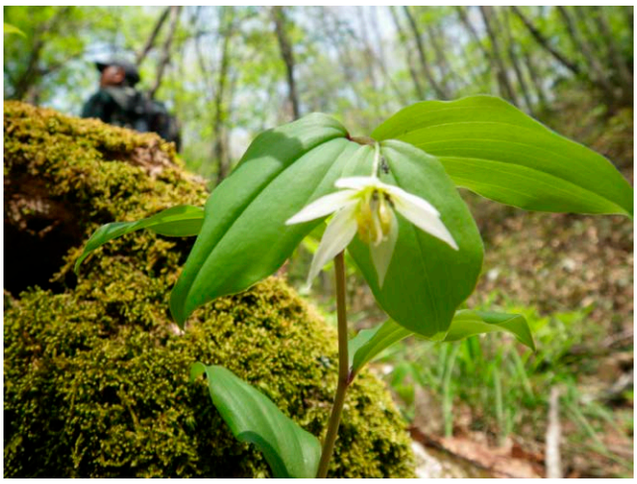
山頂で昼食後，大佐スキー場方面のルートを歩きます．道の両側を彩る満開のダイセンミツバツツジや，湿った環境を好むニョイスミレの群生に感嘆の声をあげながら下山し，大佐スキー場駐車場でまとめをして，様々な春の花に彩られた大潰山を後にしました．

（ありみつまさかず）

登山前に座学を行う．人と大潰山の関係や，植生について佐久間先生からお話があった．

4 枚の葉の中心から伸びる花茎の先に，緑色の花を咲かせるツクバネソウ．

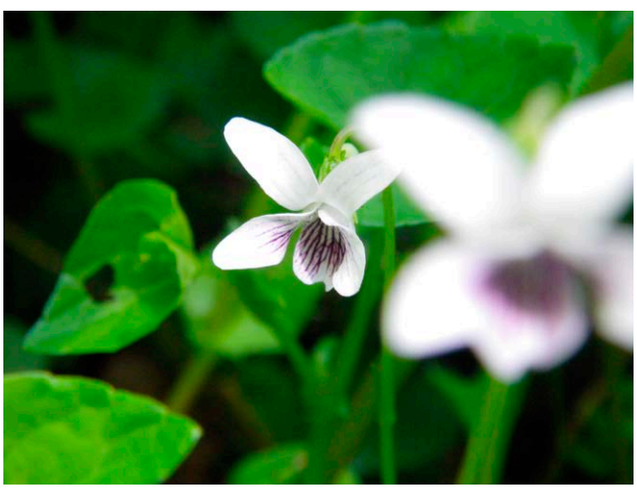
カンスゲとミヤマカンスゲの花穂を見比べる斎藤先生．



ひっそりと咲くチゴユリ．

別ルートを通って下山開始．道の両脇のダイセンミツバツツジは満開の時期を迎えていた．

休憩中，暮町先生から大潰山で行われていた炭焼きのお話いただく．



道のすぐ傍に湿地になっている場所があり，ニョイスミレが群生していた．

登頂記念にみんなでにっこり．山頂では，ヤマラッキョウやキジムシロなどの草原生の植物を確認した．

【みなさんの印象に残った物】

「ダイセンミツバツツジの群生」「ダイセンミツバツツジが最近になく満開．満足しました」「ダイセンミツバツツジ，スミレ各種」「ダイセンミツバツツジがきれいに咲いていた」「スミレやスゲの仲間の見分け方，ヤマナラシの幹のひし形模様」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「ガイドの勉強にもなり充実した観察会でした」「良い天気で，前年までに教えてもらったものを思い出せました」「きもちのよい１日でした」「天候も良く，良い観察会でした」「山頂からの眺めも良かったです」

観　察　会　報　告

●ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2014 年 5 月 18 日（日）5:00
講師：上野吉雄

毎年お楽しみのブナ林の野鳥観察会です．山口県，福岡県，島根県からと県外の方も含めて 24 名のみなさんが朝 5 時に雪霊水に集合しました．今回の講師は上野先生です．

雪霊水を中心に約 3 時間観察をしました．26 種類の鳥を確認する事ができました．にぎやかにさえずっているのが，ミソサザイです．姿はなかなか見えませんでしたが，最後になって雪霊水付近にて見る事ができました．コルリの鳴き声には前奏があること，クロツグミはキョロリ，キョロリと鳴き真似が得意な事などを，実際の鳴き声を聞きながら解説していただき，とても臨場感がありました．またオシドリの姿を見たり，アカゲラが巣穴から出入りしている様子もじっくり観察する事ができました．

小さな鳥の姿を見つけ，何の鳥かな？と双眼鏡等でよーく見てみると，サメビタキでした．フライイングキャッチをして虫をとるヒタキの仲間で，この時期は中部以北にいることが多いので，臥竜山で見る事はめずらしいとのことでした．コサメビタキとの見分け方が難しいようですが，図鑑や上野先生の解説で識別ポイントを教えていただきました．やはり図鑑とフィールドスコープ，そして観察の経験が必要なんだなぁと実感しました．

みなさんが期待していたアカショウビンは，鳴き声が聞こえるものの，姿を見せてくれず，少し残念でした．

他には，イワツバメ，アオゲラ，ウグイス，オオルリ，ツツドリ，シジュウカラなども確認する事ができました．

みなさんとの会話の中で，特定外来生物であるソウシチョウが年々増え続けていることを懸念する声も聞こえました．環境や種数などをしっかりと確認し，状況を把握することは重要なことだと再確認しました．

これからも観察会を通して，ブナ林に生息する野鳥を観察し，楽しみながら学ぶ機会としたいです．（こうのやよい）

※サメビタキの写真を，吉岡透さんよりご提供いただきました．ありがとうございました．

周りのさえずりを気にしながら，上野先生から今日の行程などの説明があった．

「あ！上に飛んでる！」思いっきり見上げての観察．

ミソサザイのさえずりが聞こえるものの，姿が見えず．

図鑑を見て特徴を確認中.

姿を現したサメビタキ．識別法が難しかった.

こちらはアカゲラの巣を観察．巣穴を出入りしている様子が見えた.

キビタキが小枝に止まっているのをそぉっと見守る.

【みなさんの印象に残った物】

「ミソサザイがよく見えた．珍しい鳥も見えた！」「ミソサザイ・キビタキのさえずり」「早朝から多くの人が集まったこと」「オシドリのつがいが見られてよかった（2)」「声はすれども姿は見れず, だけども見つけられると嬉しい」「クロジの写真がとれた」「クロジが多かった」「早朝より沢山の鳥のさえずりを聞けたこと」「キビタキの姿をはっきりとみることができたこと」「巣に出入りするのが見れた」「アカゲラの巣が見れたこと（2)」「1 年振りに確認したクロジの声」「オシドリ，アカショウビンの声」

【参加したみなさんの感想（抜粋)】

「感動しました」「すがすがしい気持ちになった」「初めて参加させていただきました．自然の中の野鳥はとても美しくてかわいかったです．声もきれいでした．とてもいやされるひと時でした」「鳥が見つかると先生や皆さんがまめにスコープを見せてくれたのが嬉しいです」「今シーズン初めてアカショウビンの声を聞けた．コルリは残念」「暖かかった」「とても楽しい時間を過ごせました」「山のコーラスを楽しめました」「楽しかった」「たくさんの鳥が見えて良かったです」「繁殖期にならではの必死に生きる姿が見られて良かったです」「キビタキがきれいだった」「本当に楽しかったです．毎年勉強になることが多いです」「1 人では見られない鳥が見られたと思います．ありがとうございました」

観　察　会　報　告

●龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2014 年 6 月 7 日（土）6:00
講師：上野吉雄

雨が心配されましたが，早朝には降り止み，龍頭山の野鳥観察会が行われれました．道の駅豊平どんぐり村に 13 名の参加者が集まり，講師の上野先生から事前説明がありました.その後，車で龍頭山の麓まで移動しました．

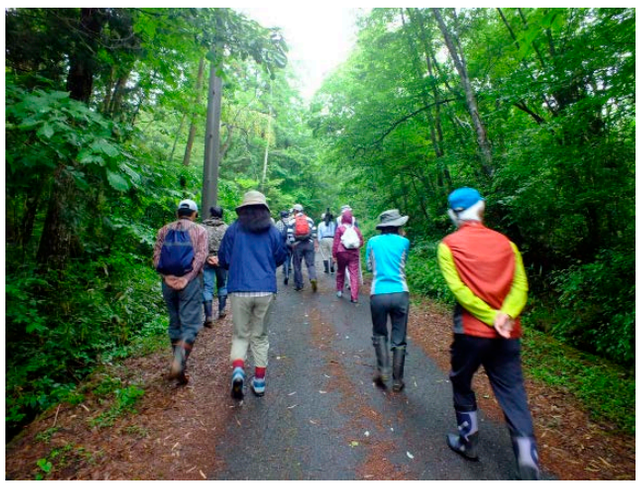
車を降り，鳥の姿を探しながら登山道を歩きます．さえずりが聞こえてくるイカルやキビタキ，オオルリの姿を探しながら，越冬地の環境悪化により，夏鳥の数が減少していることを上野先生が話されました．

ササユリやコアジサイなどの花を見つけ，時折足を止めながら，折り返し地点となる開けた場所へと到着しました．ここではオオルリのメスとメジロの姿を確認しました．メジロは，ブラシのように分かれている舌を使って，花の蜜を吸うそうです．昆虫の少ない春先から活動するため,花粉を運ぶ重要な存在となるようです．

観察会が終わりに差し掛かる頃，1 羽の野鳥が木々の間から飛び出して来ました．サンコウチョウです！体長と比べ，とても長い尾羽が特徴のオスだということがわかりました．さえずりの様子から，2 羽のサンコウチョウが，道路を挟んで縄張り争いをしていることを上野先生が話されました．参加者は，時が過ぎるのを忘れて，時折現れる姿を目で追い，さえずりに耳を傾けていました．

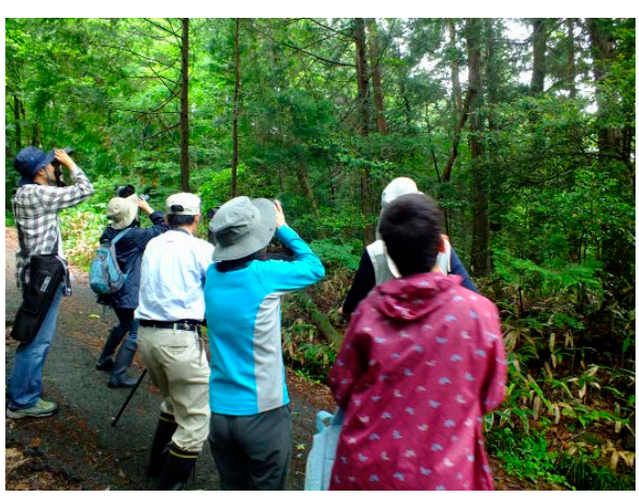
最後に鳥合わせを行い，今回の観察会で 31 種類の野鳥を確認しました．

野鳥の観察の他にも,さえずりの特徴や生態,植物との関係などを学び，野鳥の魅力に触れられた観察会となりました．（ありみつまさかず）



さえずりを聞きながらゆっくりと歩き始めた．

登山道の脇にはササユリが咲いていた．



一行についてくるオオルリを探す．どこにいるのだろう？

コアジサイ．空を見上げたり，視線を戻す度に発見があった．

観察会の終わり際に見つけたカタツムリを解説する上野先生．

登山道入り口付近でカワラヒワを観察する．

頭上を通り過ぎたサンコウチョウを探す．

【みなさんの印象に残った物】

「あらゆる鳴き声に出会えた事．いつも目覚めると鳥の声．オヤオヤ何という鳥，嬉しくなります」「野鳥の多さに感激しました」「サンコウチョウの観察（3）」「鳥が少ない」「サンコウチョウの鳴き声をはじめて聞いた．飛んでる姿も見た！」「モリアオガエル」「サンコウチョウが見れたこと」「サンコウチョウの飾り羽ときれいなさえずり」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「普段から鳥の声に興味を持っていたので，名前が知れて身近に感じました」「多くの鳥の声が聞こえて感動しました」「鳥が見にくい」「朝早く出てきた甲斐があった」「きてよかった！」「たくさん鳥が見れたし，鳴き声が聞けてよかった」「声は聞こえど姿は見えず」「図鑑でしか見たことのない野鳥を実際に見れて感動しました」「サンコウチョウの美しい声と姿を見せていただき，感激・感謝の朝でした！様々な鳥のさえずりも素晴らしかったです」

観　察　会　案　内

観察会に参加される時には，次のようなものを持参してください．カメラ，双眼鏡，ルーペ，図鑑などもあれば，楽しいと思います．

基本セット：山を歩ける服装，雨具，飲み物，おやつ，筆記用具，メモ帳
作業セット：作業ができる服装，長靴，軍手，雨合羽，飲み物，おやつ

●ブッポウソウの観察会

開催日時：2014 年 7 月 13 日（日）9:30
集合場所：芸北文化ホール
講師：上野吉雄・松田賢
準備：基本セット，あれば双眼鏡，フィールドスコープ
定員数：30 名
参加費 : 一般 =300 円，賛助会員 =100 円
正会員・中学生以下 = 無料

育雛期のブッポウソウの観察会です．室内でブッポウソウについて座学を行った後，巣箱を設置してある場所へ移動します．巣箱の中の雛に親鳥が餌を運ぶ様子や，特徴的なくちばしの色などを，見守りながら観察しましょう．

●カワシンジュガイ探検隊

開催日時：2014 年 7 月 26 日（土）9:30
集合場所：芸北文化ホール
講師：内藤順一
準備：基本セット，川に入れる服装，ゴーグル，あればシュノーケル，ぬげにくいサンダル
定員数：30 名
参加費 : 無料
※ 今回は SAVEJAPAN の支援を受け実施します

氷河期の生き残りといわれるカワシンジュガイの観察会です．川の中に入り，箱メガネやゴーグルなどを使って観察します．アブラボテ・タカハヤ・カワムツなどの魚類の観察も行います．川の中に入れる服装や着替えをご用意下さい．

●夏休み親子観察会

開催日時：2014 年 7 月 21 日（月・祝）9:30
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治・佐久間智子
準備：基本セット，川遊びのできる服装
着替え，タオル，ぬげにくいサンダル
定員数：親子 20 組
参加費 : 無料

自然再生事業が行われれた霧ヶ谷湿原の中央を流れる川で水生昆虫を観察します．実際に川に入り，自分たちで採集し，同じ形をした仲間ごとに分類します．川の中には普段目に付かないような小さな生き物がたくさん！また，この観察会を通して，生物多様性も学びます．小学生以上の親子でお申し込み下さい．

晴天の続いた 5 月から一転，梅雨に入り雨の日が続きます．館内が少し肌寒く感じ，セーターを羽織る日もしばしばです．八幡高原を歩くと，ヤマボウシやコアジサイなどが見頃を迎えました．また，5 月の中旬から，水槽展示にブチサンショウウオが加わりました．新しい仲間とともに，皆様のご来館をお待ちしています．（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ，観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）
〒 731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax：0826-36-2008
http://shizenkan.info/
staff@shizenkan.info